

◆ 施設・事業所の概要 ◆

事業種別：特養、ショートステイ

職員数：43人

ご相談の内容

定期的に研修は行っていますが、いつも資料を通して聞くだけの研修でマンネリ化しています。職員が意欲を持って主体的に取り組めるような参加型の研修にするためにはどうすればよいでしょうか。



支援の内容

職員の研修に対する興味や参画意欲を引き出す研修技法として、①討議法（受講者が互いに討議し、問題解決能力を養う技法）、②事例研究法（事例をもとに討議し、疑似体験や原理原則を確認する技法）、③ロールプレイ（役割を演じることで、技術の向上や他者理解を促進する技法）、④自己診断法（チェックリスト等を用いて自己覚知を深める技法）等を紹介しました。

また、これらの研修技法の活用にあたっては、①研修のねらいや目的、研修対象者のレベル等にに応じて選択すること、②講義法で基礎的な知識を付与した上で、討議法や事例研究法で理解を深めるなど、いくつかの技法を組み合わせると相乗効果が期待できること等をアドバイスしました。

さらに、職員の階層に応じて、研修の司会やファシリテーター、事例発表等の役割を任せることで、OJT との連動を意識した職員育成が図られることもアドバイスしました。

職場研修アドバイザーからの一言アドバイス

- 職場研修を効果的に実施するためには、講義法に加え、できるだけ討議法や事例研究法など参加型の研修技法を取り入れることが大切です。
- 研修技法の活用にあたっては、研修の目的や対象者のレベル等に応じて研修技法を選択し、いくつかの研修技法を組み合わせると相乗効果が期待できます。